

新たな火葬場整備に係る候補地選定について

- I これまでの検討経過
- II 各候補地の評価と比較

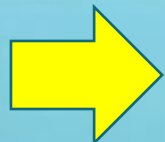
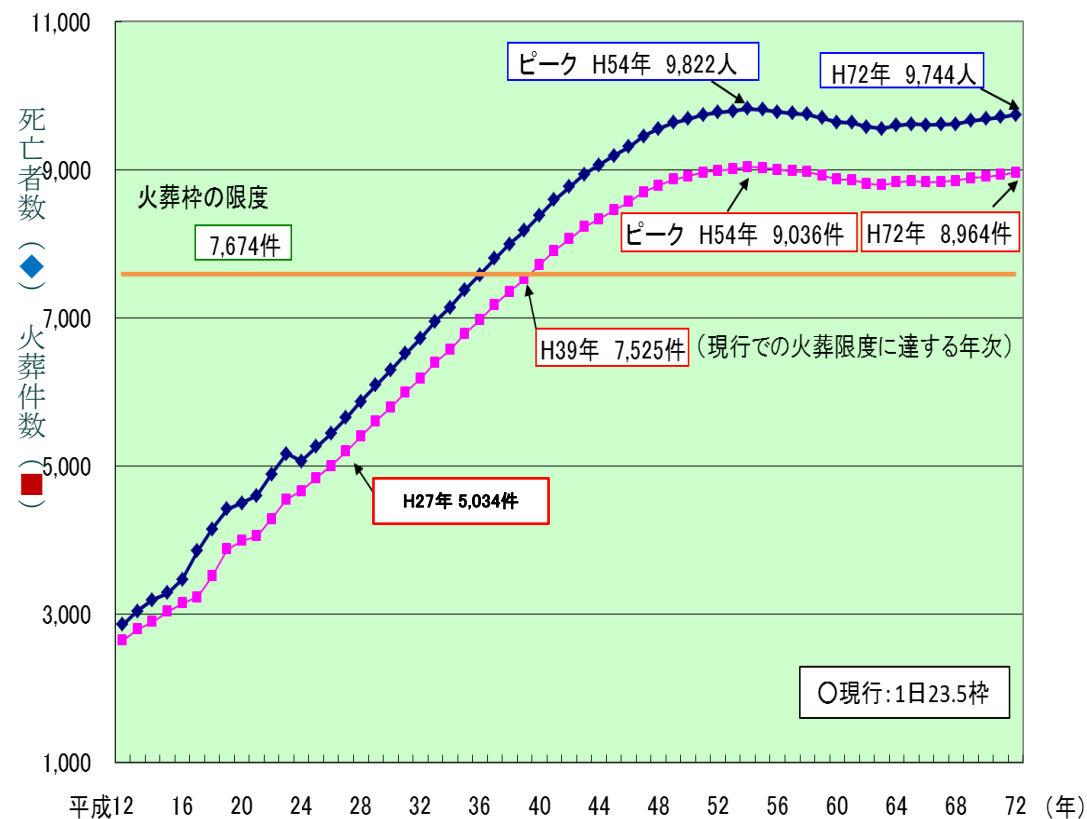
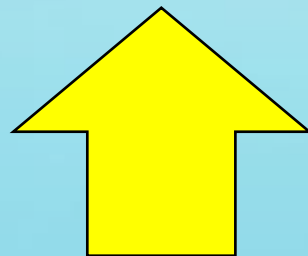
平成28年9月
相模原市 市民局 区政支援課

火葬需要の現状と予測

平成39年には現市営斎場の火葬枠が火葬需要を賄えなくなる

平成54の火葬需要
約9,000人/年

火葬枠
約7,700人/年



安定的な火葬業務提供のためには新たな火葬場の整備が必要

新・相模原市総合計画での位置づけ

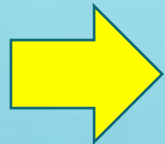
生活衛生対策の推進

市域の拡大に伴う市民ニーズなどを踏まえ、
火葬場の適切なあり方を検討

新・相模原市総合計画 中期実施計画書

新たな火葬場の整備

高齢化の進行などによる今後の火葬需要に対応するため、
新たな火葬場の整備に向けた取り組みを推進



新たな火葬場のあり方等検討委員会（平成23年11月設置）

新たな火葬場のあり方に係る提言（平成25年3月）

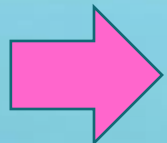
火葬場は、一人ひとりの市民にとって、故人との最後の時を過ごす
かけがえのない施設

⇒将来にわたって**安定的な火葬業務を提供する必要がある**

○市営斎場の機能拡充

○**新たな火葬場の整備**

- ・市内在住者が新たな火葬場もしくは現市営斎場のどちらかに
概ね1時間で到達できる距離(場所)



津久井地域での立地が望ましい

新たな火葬場整備基本構想(平成26年5月)

「新たな火葬場のあり方に係る提言」を踏まえ、新たな火葬場の整備を進めていくための基本的な考え方

○津久井地域での整備を基本として

○地域からの候補地の提案

○候補地選定の条件

- 自然環境条件 ⇒ 地形・地盤等
- 道路環境条件 ⇒ 幹線道路からのアクセス性
- 法令等の条件 ⇒ 農用地区域外、保安林指定地外

旧津久井4町代表意見交換会(平成27年3月)

- 津久井地域から津久井地区（1時間以内）が適当
- いくつかの候補地を条件に照らして検討してはどうか
- 地域からの候補地の提案については、津久井地区自治会連合会、津久井地区まちづくり会議を窓口として協議してはどうか

出席者

城山地区・津久井地区・相模湖地区・藤野地区まちづくり会議及び自治会連合会の代表・副代表
延べ24名



城山地区、相模湖地区、藤野地区へは、適宜、状況の報告や情報提供を行う

候補地の選定手法について（平成27年7月）

津久井地区自治会連合会役員会での意見

○施設が火葬場であることから、具体的な候補地については、法規制等を考慮した上で、**市が選定すべきである**

津久井地区まちづくり会議での意見

○具体的な候補地については、**市が選定すべきである**
○周辺のまちづくりの動向も考慮し、候補地を検討すべきである



火葬場の候補地は事業者である市が選定する

「新たな火葬場を考える会」の設置(平成27年9月)

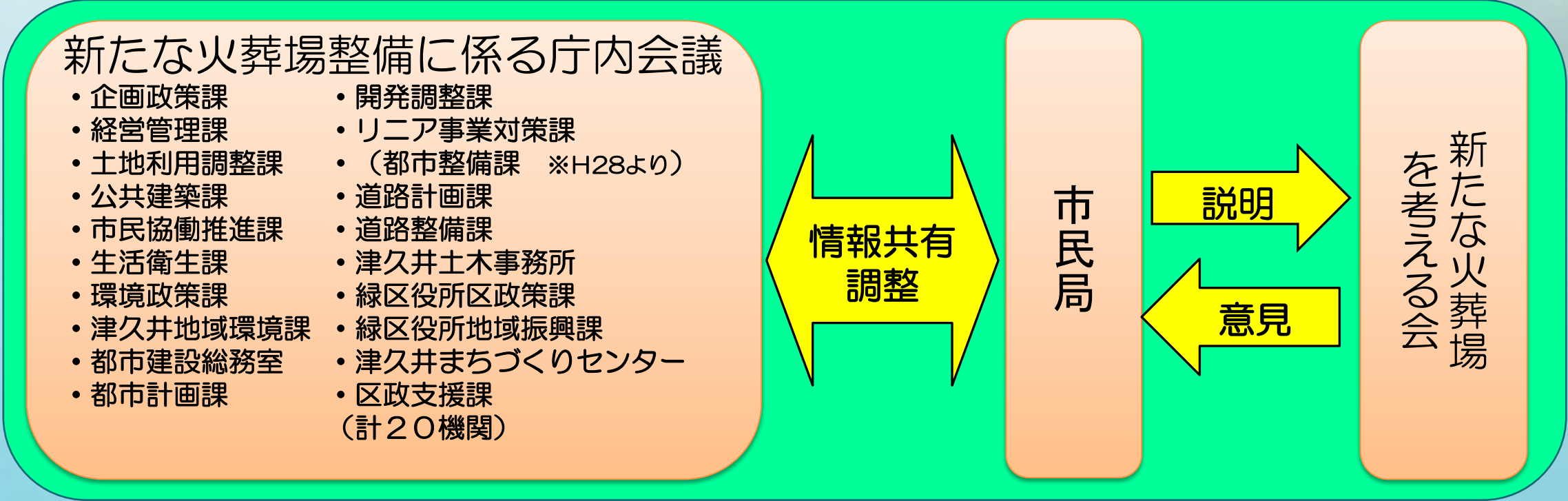
目的

候補地の選定や施設機能・内容など、新たな火葬場の整備について、立地予定である津久井地区から意見等を行うこと

構成員

「津久井地区まちづくり会議」委員 5名
「津久井地区自治会連合会」役員 10名
相模原市 市民局次長

新たな火葬場整備に係る庁内会議の設置(平成27年9月)



候補地選定に着手

候補地選定に係る検討の背景・経緯

○津久井広域道路の延伸整備

○リニア中央新幹線の非常口 など

検討開始当時、津久井地区内の他事業の動向は不透明な状況



しかしながら、

○平成39年には、現市営斎場の火葬限度枠の超過予測

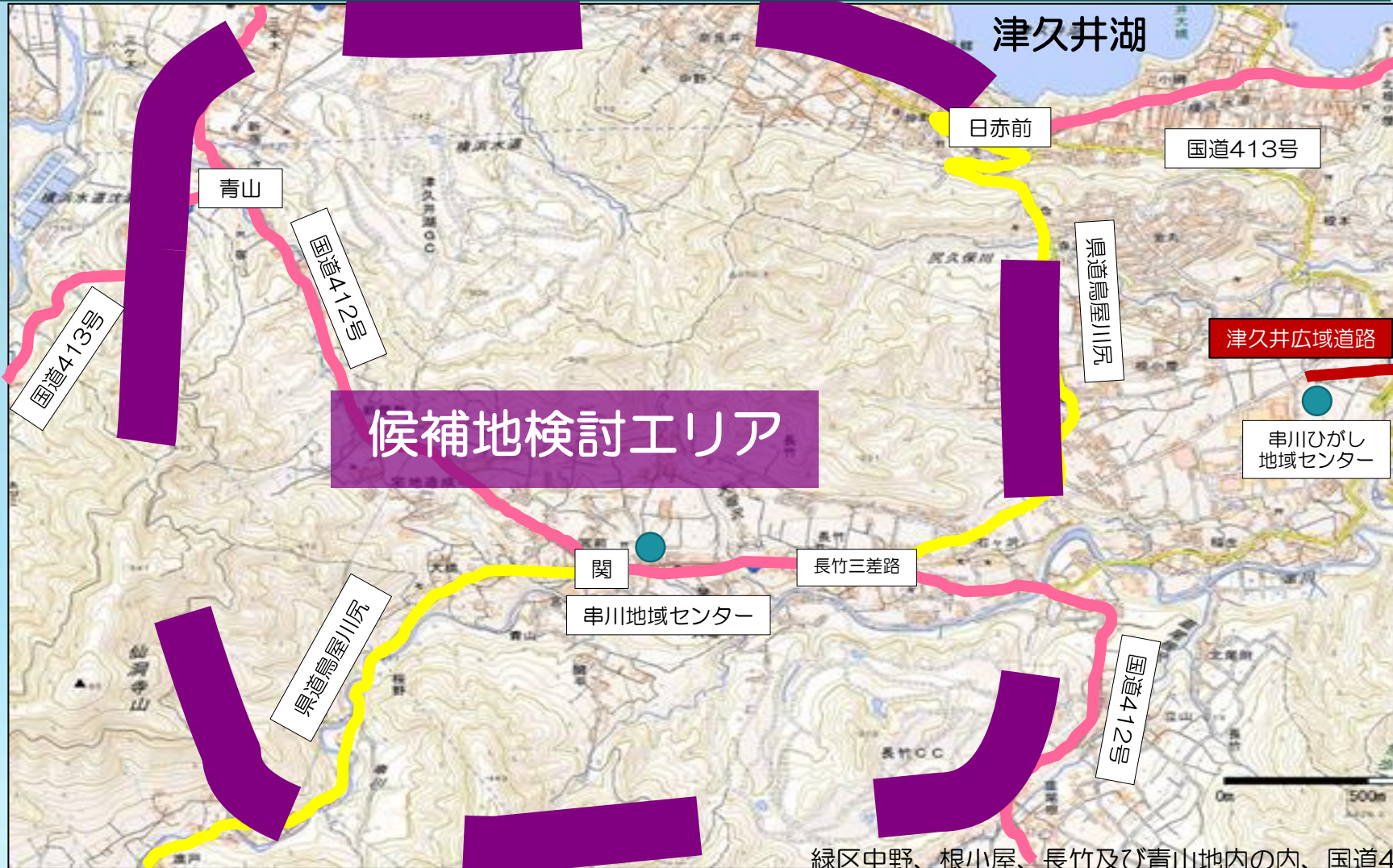
⇒早急な新たな火葬場の整備が求められる



火葬場の早期整備に向けて、**周辺**の事業動向を注視しつつも、

まずは、立地可能性の観点から、候補地選定の検討を開始

候補地検討エリア（平成27年10月）

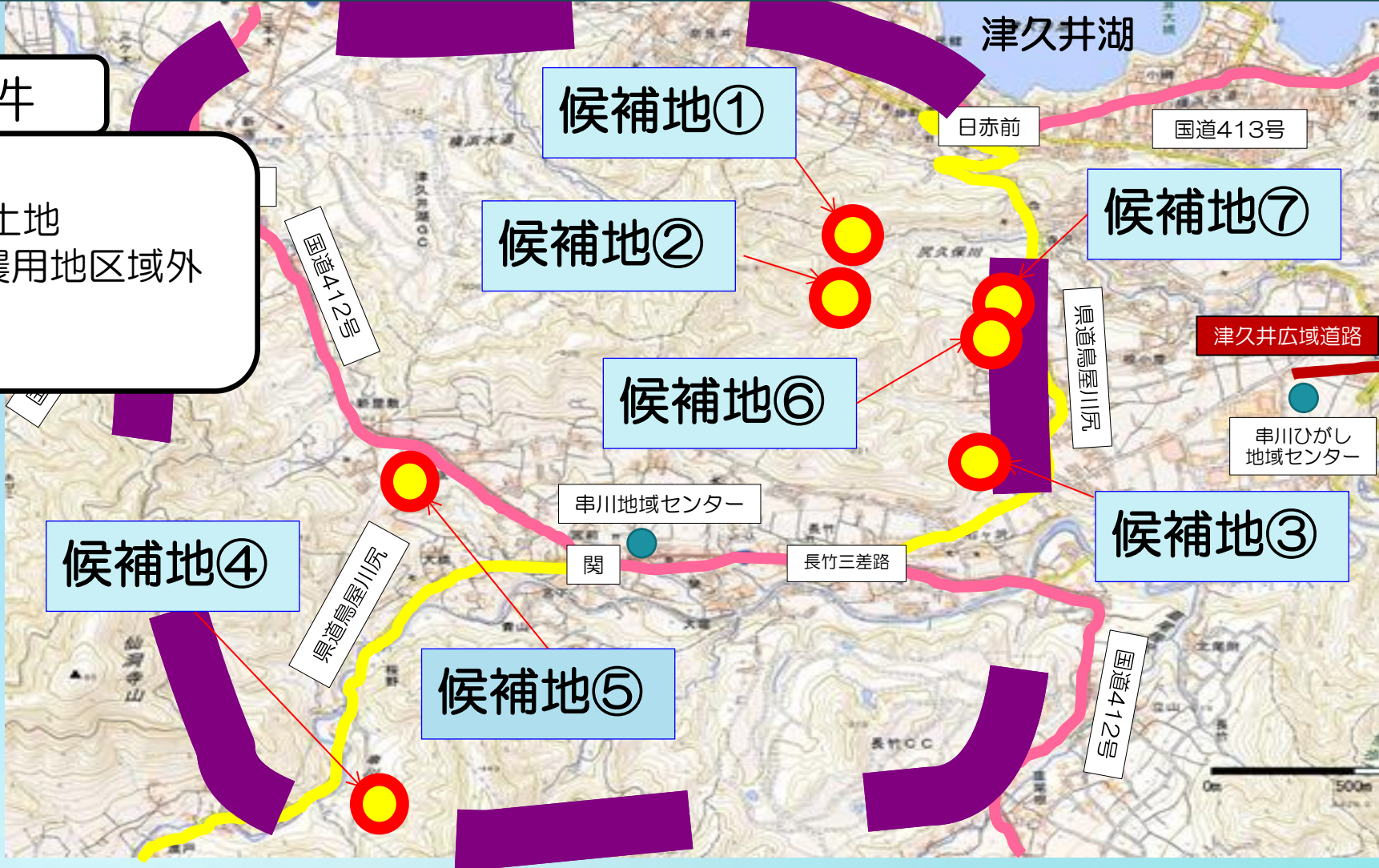


緑区中野、根小屋、長竹及び青山地内の内、国道412号、
国道413号及び県道鳥屋川尻で囲まれる区域周辺

候補地の抽出（7箇所）

候補地抽出の条件

- 津久井地区内
- 概ね4haの一団の土地
- 保安林指定地外、農用地区域外
- 住環境との分離
- 地域の声

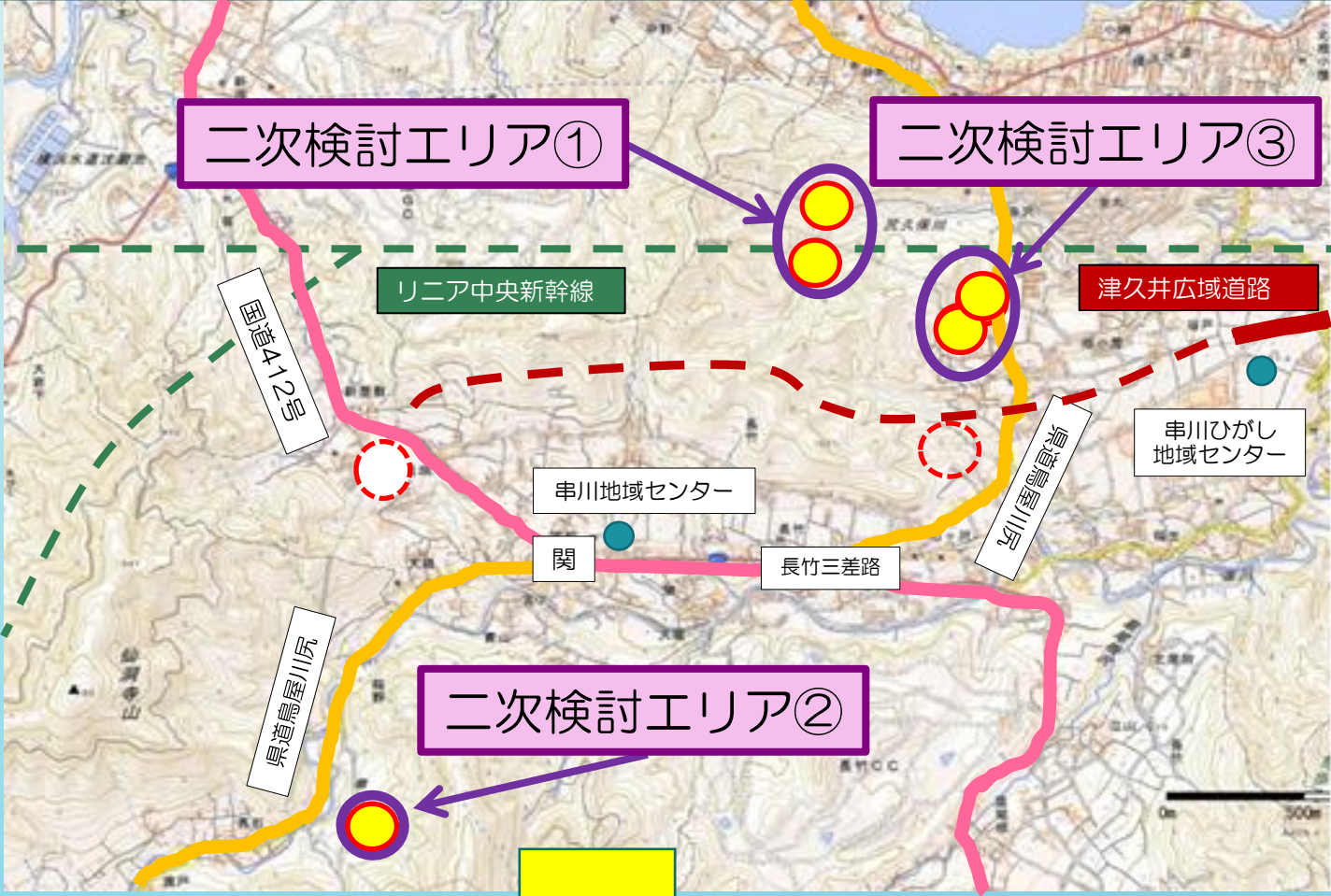


候補地の中間絞り込み（平成28年1月）

候補地の抽出（7箇所）



候補地への意見（考える会）
候補地の中間絞り込み（3エリア）



【平成28年3月予定】
候補地の決定（1箇所）

二次検討エリアとして3エリアに絞り込み



周辺の事業動向の確認

新たな候補地設定可能性の検証（H28年2月～6月）

1箇所候補地への絞り込みに当たっては、**3つの二次検討エリアの検討を進める**ほか、**周辺の事業動向を確認しておく必要がある**

周辺の事業動向

○津久井広域道路の延伸計画

⇒津久井広域道路整備による火葬場への交通アクセス性

○リニア中央新幹線非常口整備計画

⇒発生土の活用による交通安全対策や環境への配慮

津久井広域道路の延伸部での候補地設定の可能性



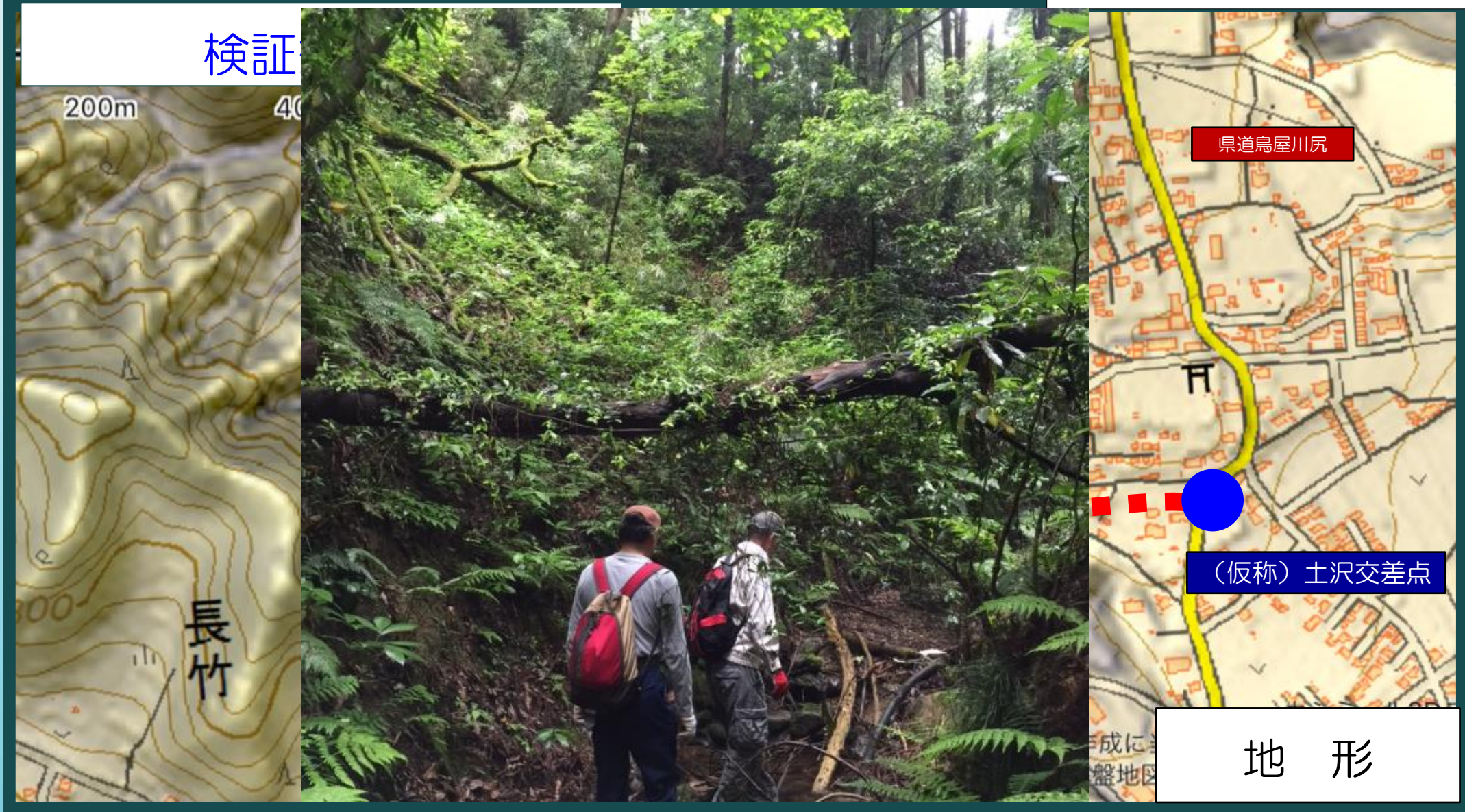
津久井広域道路の延伸部は候補地の一つとなり得るか？

検証結果



敷地部までのアプローチ部

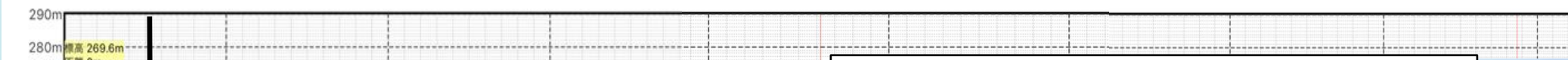
I これまでの検討経過



地形

検証結果

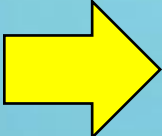
津久井広域道路延伸整備の難易度



水路機能確保イメージ



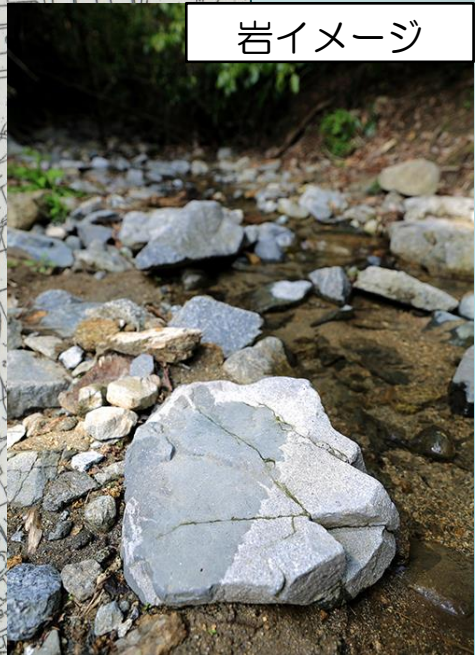
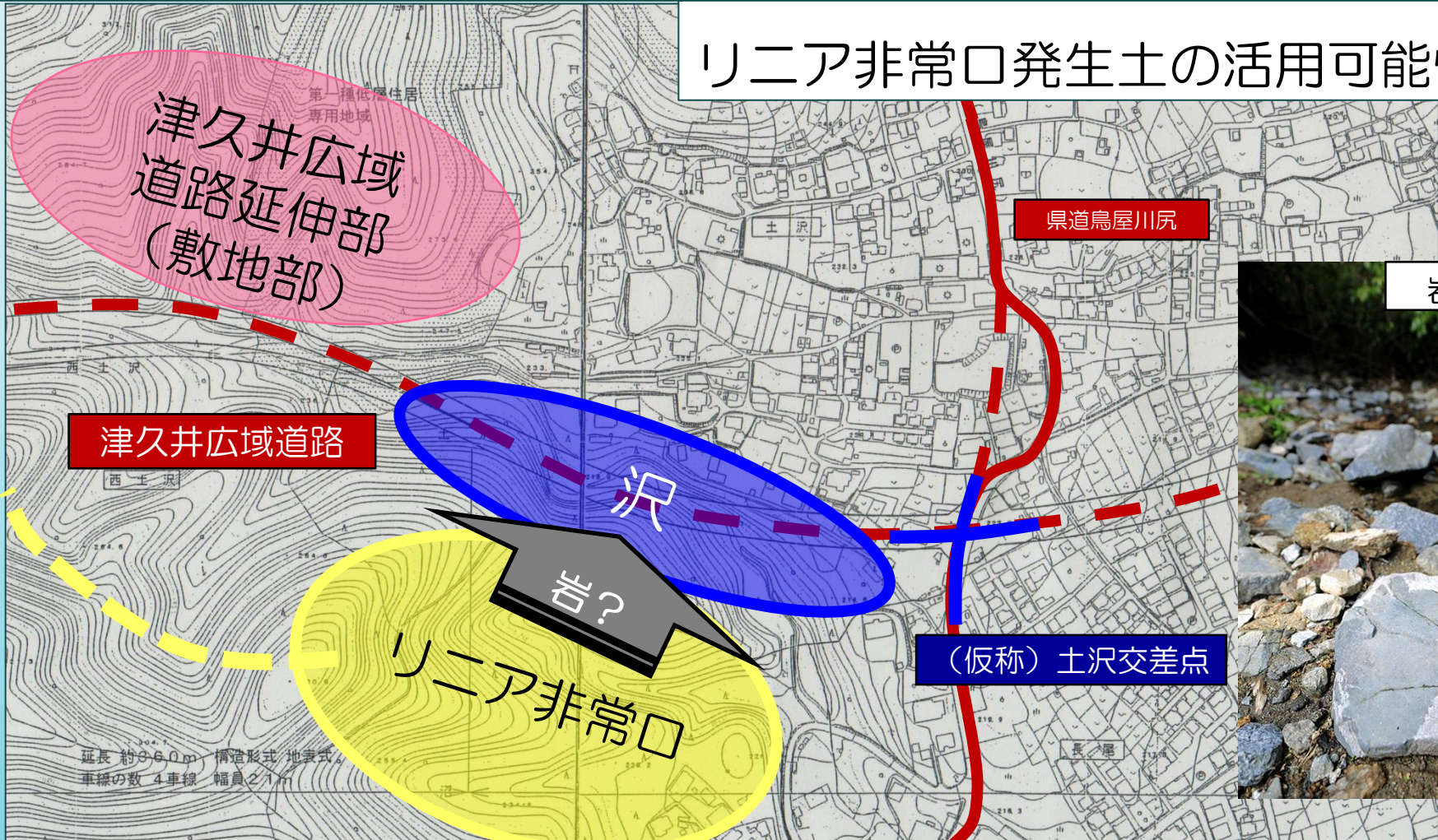
水路機能確保イメージ



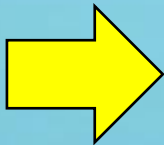
水路機能の確保が必要

検証結果

リニア非常口発生土の活用可能性

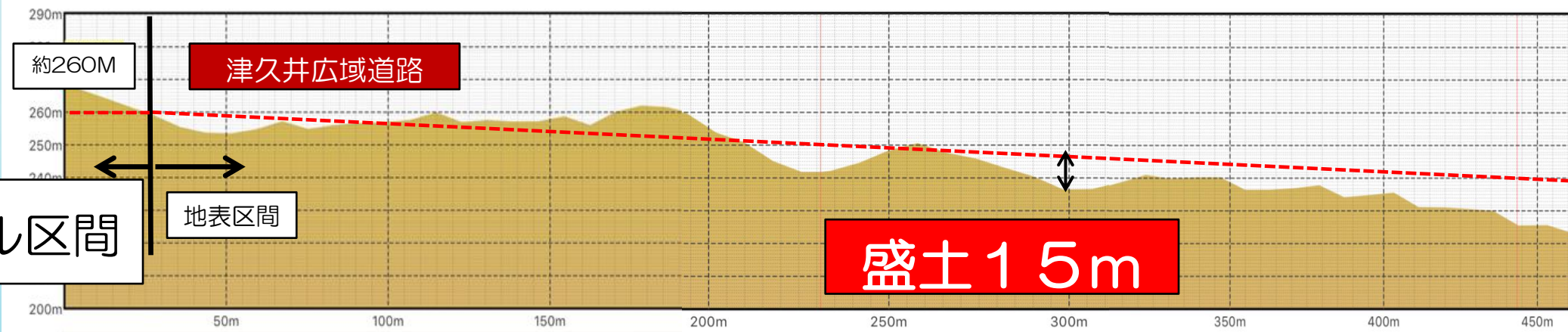


リニアの発生土は、埋立てに適さない岩の想定もあり、現時点での見通しは不透明



検証結果

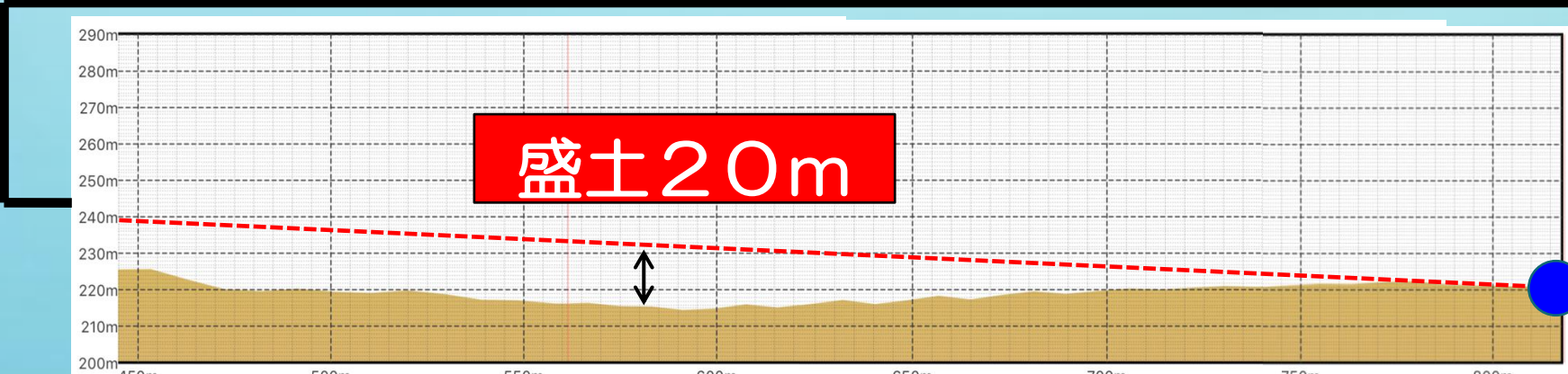
津久井広域道路延伸部整備の難易度



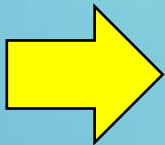
トンネル区間

地表区間

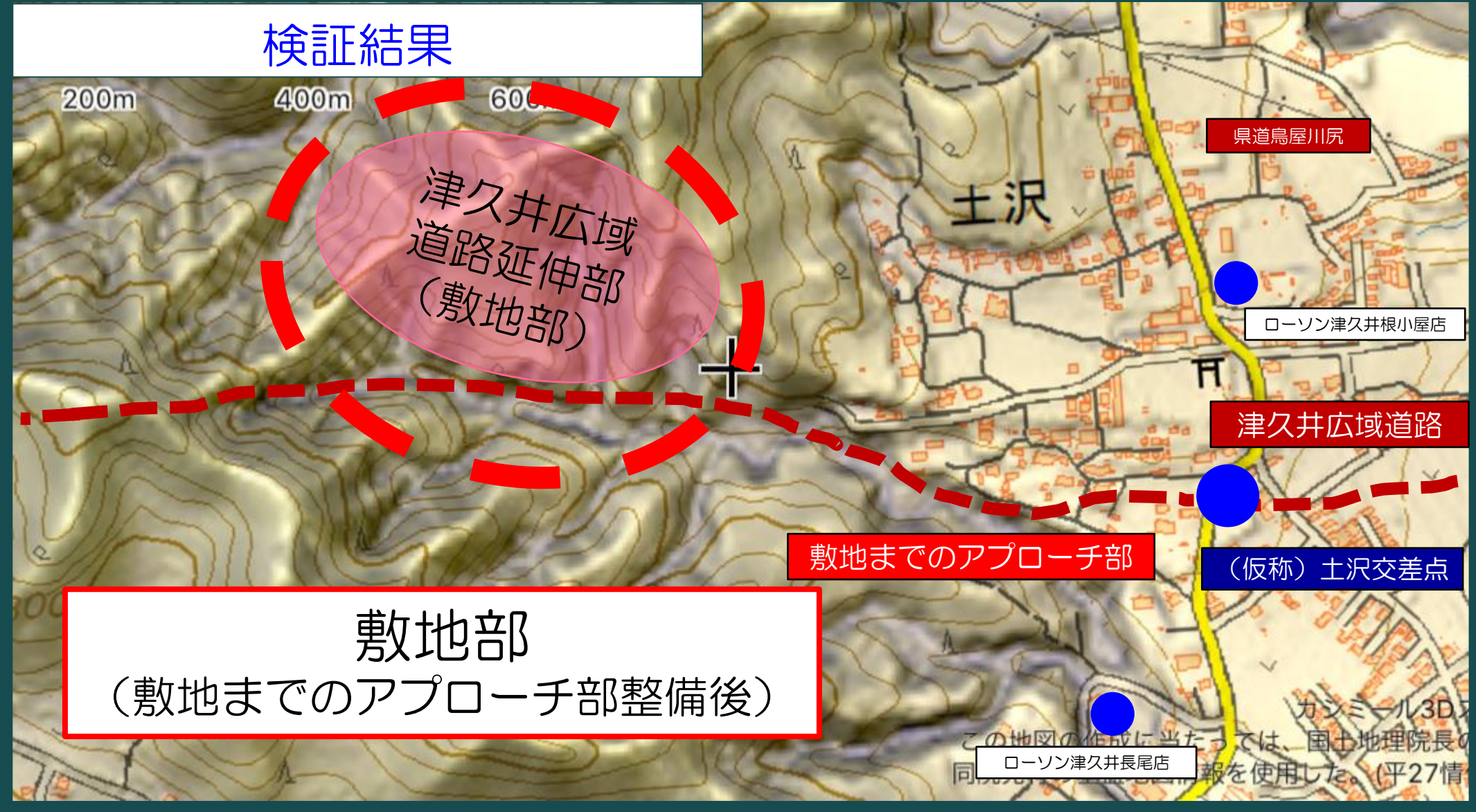
盛土15m



(仮称)
土沢交差点



最大約20mの盛土が必要となり、埋立てと土の安定期間に少なくとも約4年は必要 (参考盛土量: 約25万 m^3 11tダンプ42,000台分)





金原工業団地



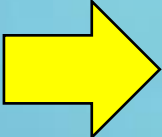
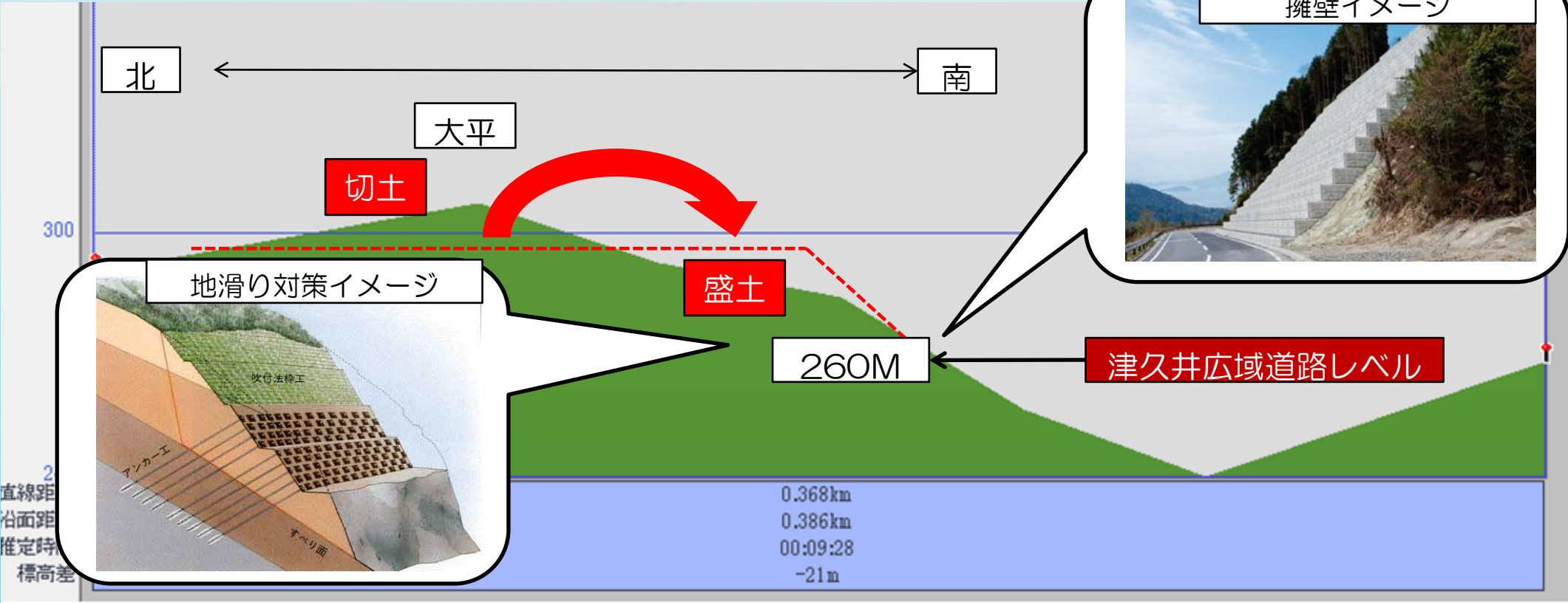
大平より南側を望む

地形

同院発行の基盤地図

検証結果

建物敷地造成工事の難易度



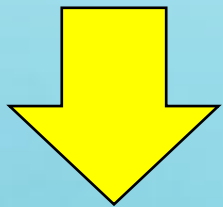
建物敷地造成の際は、大掛りな地滑り対策の可能性

津久井広域道路延伸部での候補地設定の可能性検証結果

沢の埋立てには、盛土や土の安定期間など、少なくとも4年を要する

非常口からの搬出土は、岩の想定もあり活用が不透明

敷地造成には、大掛かりな地滑り対策の必要性が高い



地形的に長期間の工期となる可能性が大

平成36年度の供用開始に間に合わないため
候補地の一つとしない

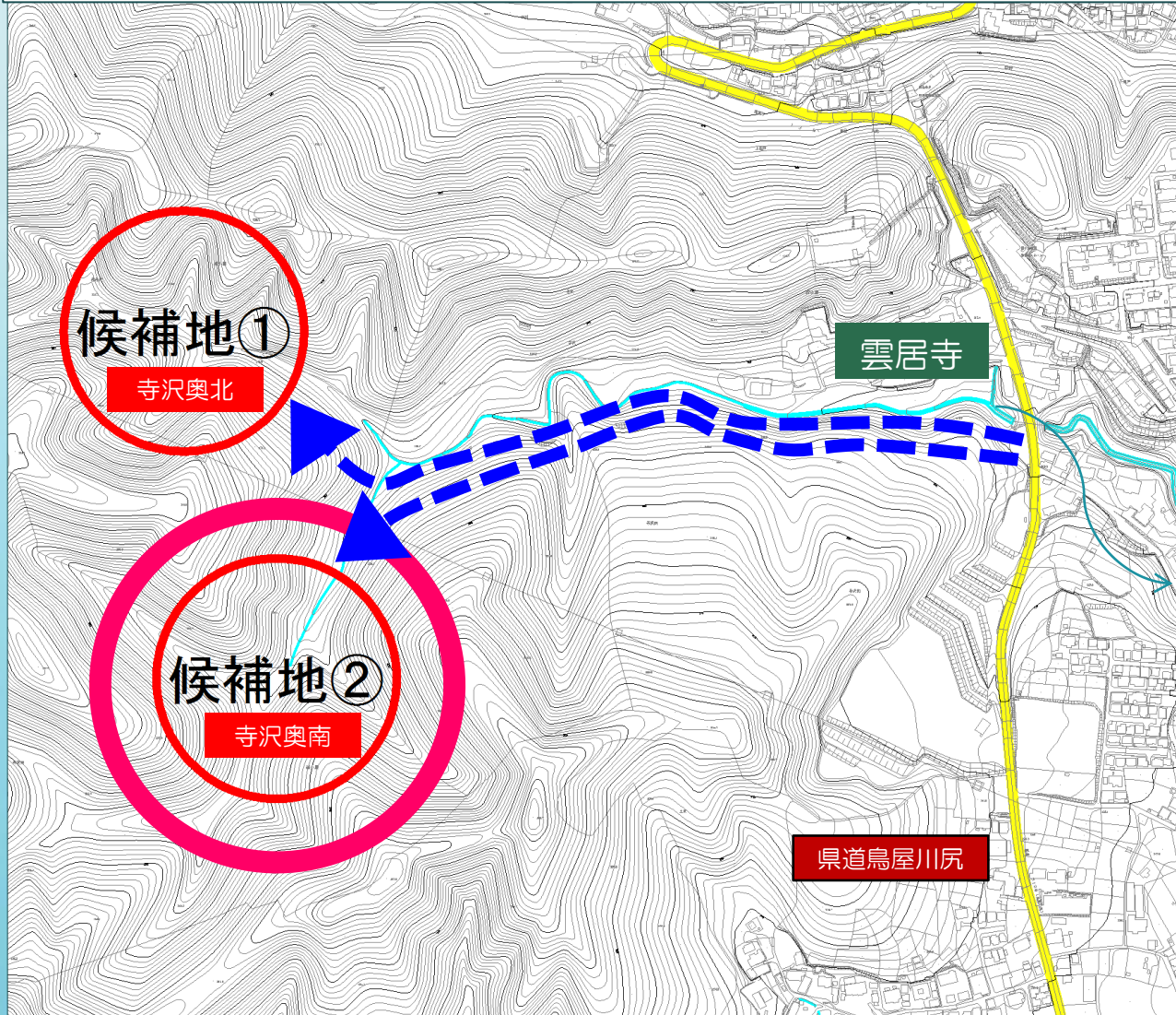


二次検討エリアの整理

二次検討エリア（3エリア5候補地）の整理



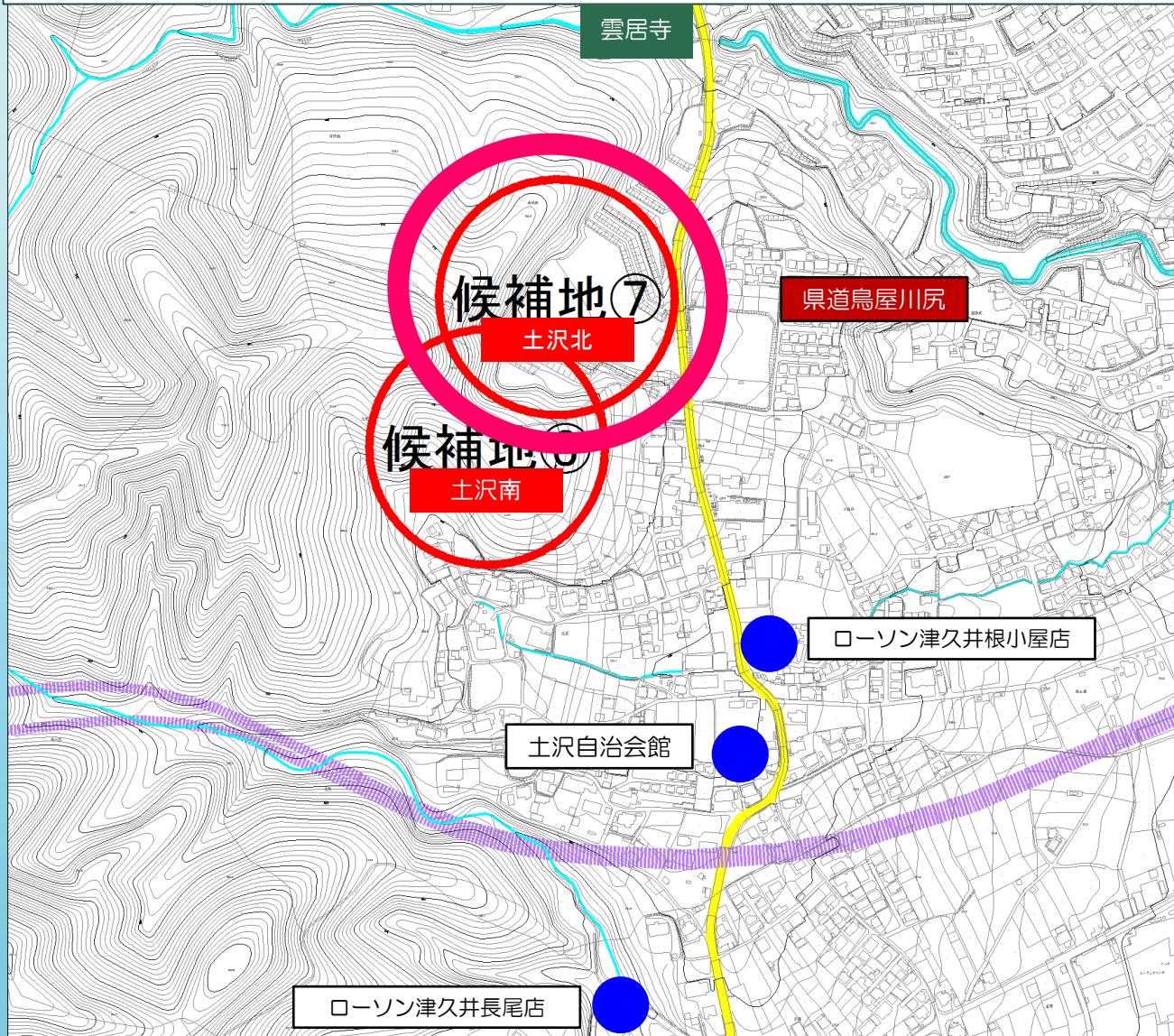
二次検討エリア①内の候補地について



寺沢奥北（候補地①）と寺沢奥南（候補地②）を比較した場合、寺沢奥南（候補地②）の方が、県道鳥屋川尻からの距離が30メートル短く、アプローチ道路の概算造成費は、約1,000万円の差異がある

⇒寺沢奥南（候補地②）を選択し、比較検討を行う

二次検討エリア③内の候補地について




土沢南（候補地⑥）と土沢北（候補地⑦）を比較した場合、土沢北（候補地⑦）が、既に造成済みであり、造成費用及び工事難易度が低い

⇒土沢北（候補地⑦）を選択し、比較検討を行う

二次検討エリア（3エリア5候補地）の整理結果

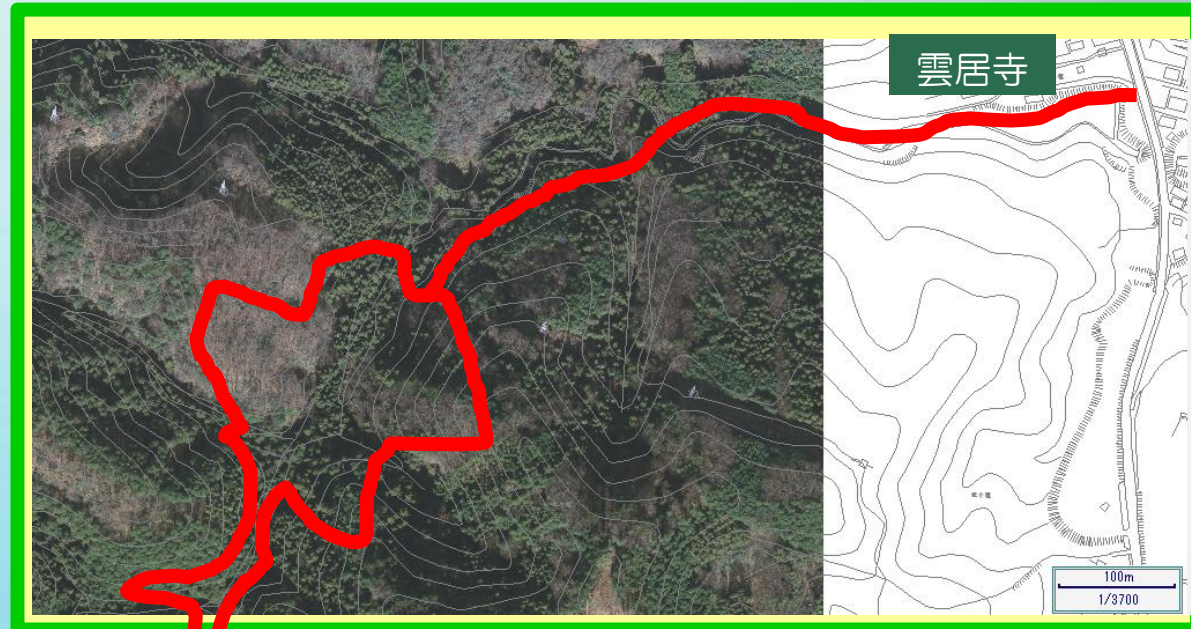


3箇所の候補地を選定し、比較検討を行う



Ⅱ 各候補地の評価と比較

候補地「寺沢奥南」の概況

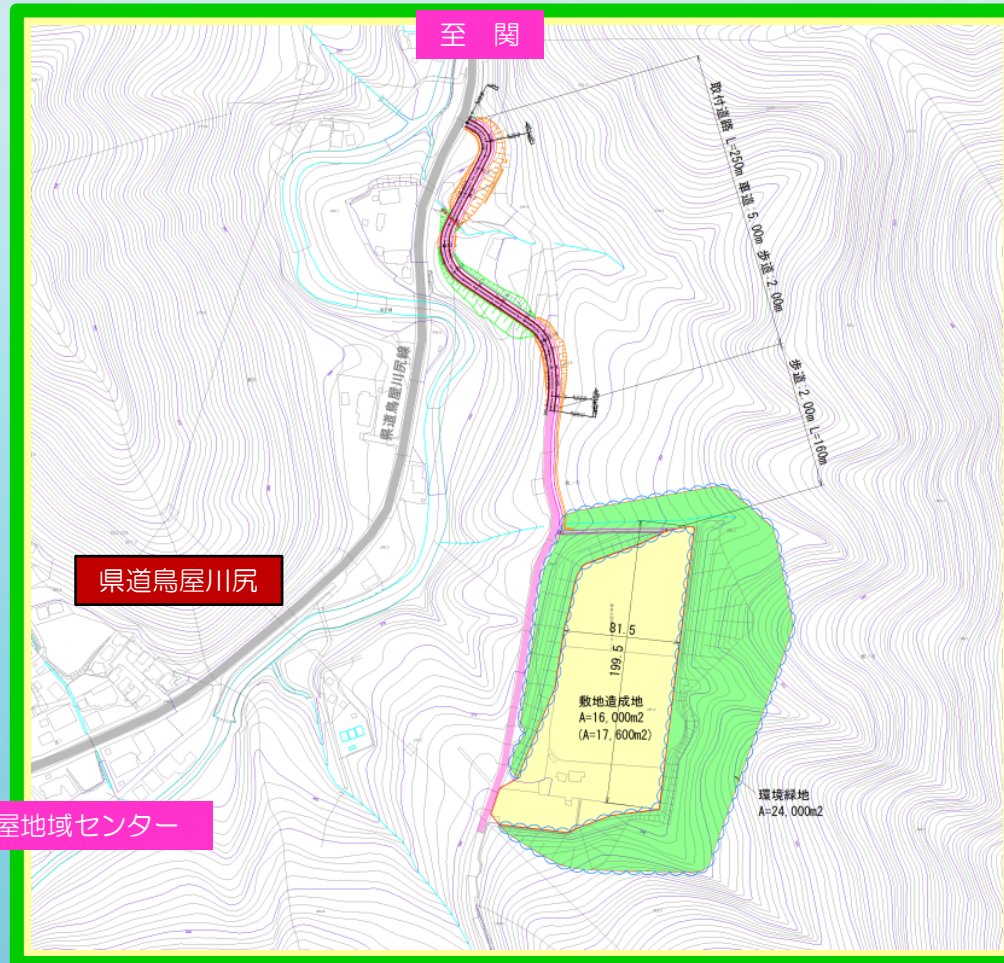


約5.8ha（造成平地約1.6ha+環境緑地等約4.2ha）
※詳細な測量は行ってないため、概ねの位置を示しています。

候補地「寺沢奥南」の概況



候補地「青山」の概況

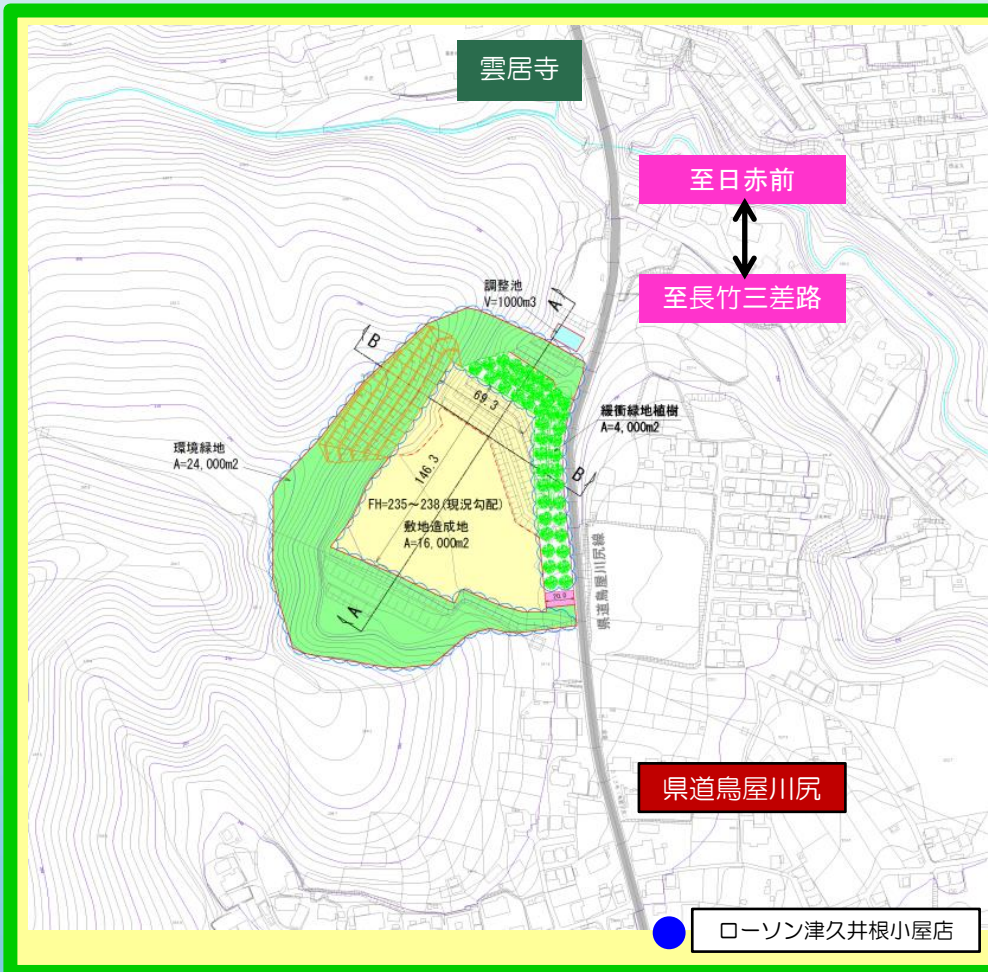


約4.7ha（造成平地約1.8ha+環境緑地等約2.9ha）
※詳細な測量は行ってないため、概ねの位置を示しています。

候補地「青山」の概況



候補地「土沢北」の概況



約4.0ha（造成平地約1.6ha+環境緑地等約2.4ha）
※詳細な測量は行ってないため、概ねの位置を示しています。

候補地「土沢北」の概況



評価項目の設定・分類

費用面（税負担）

概算造成費・概算用地費

環境面

①周辺人家の状況

②自然環境（森林の伐採面積）

評価項目の設定

交通利便性

①津久井広域道路からの交通アクセス

②相模湖総合事務所からの交通アクセス

③バス交通の状況

事業効率性

①造成工事の施工期間

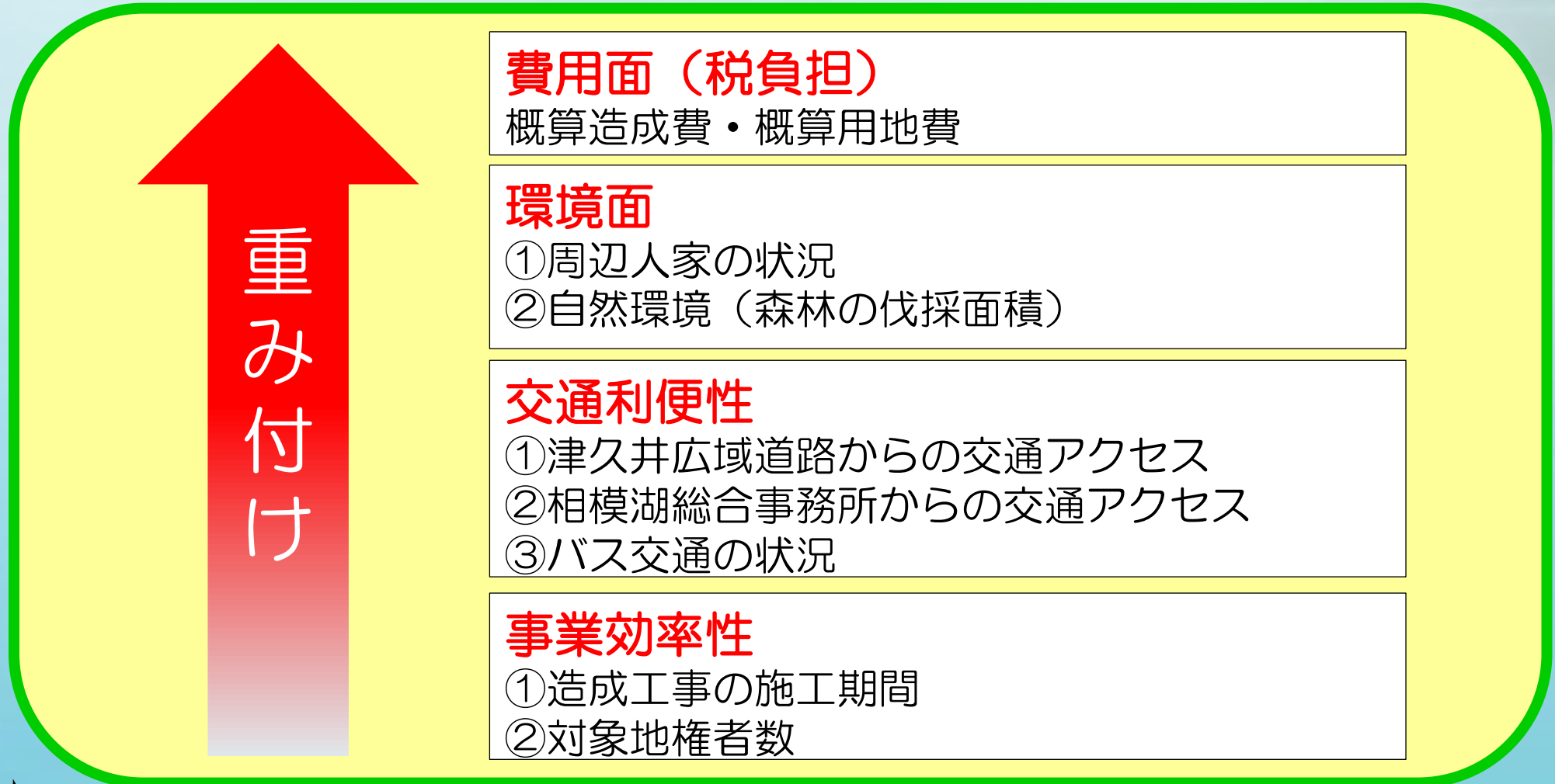
②対象地権者数

大項目に分類

評価項目（小項目）

評価項目の大項目を設定し、小項目を分類

評価項目（大項目）の重み付けの視点



各大項目の**重み付け**を実施

評価項目（大項目）の重み付け

大項目	費用面 (税負担)	環境面	交通利便性	事業効率性	平均 (相乗平均)	重み 係数	重み配点 (調整後)
費用面 (税負担)	(1)	1	3	7	2.14	0.42	40点
環境面	1	(1)	3	3	1.73	0.34	30点
交通利便性	1/3	1/3	(1)	5	0.86	0.17	20点
事業効率性	1/7	1/3	1/5	(1)	0.31	0.06	10点

- 1 左と上の項目が同じくらい重要 3 左が上よりやや重要 5 左が上より重要
 7 左が上よりかなり重要 9 左が上より絶対的に需要



各大項目の重み係数を算出し、「重み配点」を設定

費用面（税負担）

概算造成費+概算用地費 ※建物本体工事費除く

寺沢奥南 約6.68億円（約6.27億円+約0.41億円）
 青山 約1.84億円（約1.14億円+約0.70億円）
 土沢北 約6.21億円（約1.96億円+約4.25億円）

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北	
	評価	評点	評価	評点	評価	評点
40点/100点 ※評価1段階あたりの評点8点 (40点÷5=8点)	1	8	5	40	1	8

評価	区分
5	1.0億円~2.0億円
4	2.1億円~3.0億円
3	3.1億円~4.0億円
2	4.1億円~5.0億円
1	5.1億円~

※評価は5段階評価とする。

環境面

① 周辺人家の状況

寺沢奥南 0戸
 青山 約 25戸
 土沢北 約 120戸

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北	
	評価	評点	評価	評点	評価	評点
20点/100点 ※評価1段階あたりの評点4点 (20点÷5=4点)	5	20	3	12	1	4

評価	区分
5	0戸
4	1~20戸
3	21~40戸
2	41~60戸
1	61戸~

※評価は5段階評価とする。

環境面

②自然環境（森林の伐採面積）

寺沢奥南	約58,000m ²
青山	約4,300m ²
土沢北	約12,000m ²

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北	
	評価	評点	評価	評点	評価	評点
10点/100点 ※評価1段階あたりの評点2点 (10点÷5=2点)	1	2	5	10	4	8

評価	区分
5	0~10,000m ²
4	10,001~ 20,000m ²
3	20,001~ 30,000m ²
2	30,001~ 40,000m ²
1	40,001m ² ~

※評価は5段階評価とする。

交通利便性

①津久井広域道路（串川ひがし地域センター）から各候補地までの交通アクセス

寺沢奥南	約4分	（串川ひがし地域センターから約3.1km）	車40km/h
青山	約5分	（串川ひがし地域センターから約3.9km）	車40km/h
土沢北	約2分	（串川ひがし地域センターから約1.8km）	車40km/h

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北	
	評価	評点	評価	評点	評価	評点
10点/100点 ※評価1段階あたりの評点2点 (10点÷5=2点)	4	8	4	8	5	10

評価	区分
5	0～3分
4	4～6分
3	7～9分
2	10～12分
1	13分～

※評価は5段階評価とする。

交通利便性

③バス交通の状況

寺沢奥南
青山

なし

有（運行本数計24本）

「南沢」から 平日14本（鳥居原ふれあいの館行き）

「南沢」から 平日10本（橋本駅北口行き）

※最寄停留所「南沢」から候補地までの所要時間徒歩約7分

（「南沢」から通路入口まで約150m/県道から建物敷地まで約400m）

土沢北

なし

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北		評価	区分
	評価	評点	評価	評点	評価	評点		
5点/100点 ※評価1段階あたりの評点1点 (5点÷5=1点)	1	1	3	3	1	1	5	41本～
							4	31～40本
							3	21～30本
							2	11～20本
							1	0～10本

※評価は5段階評価とする。

事業効率性

①造成工事の施工期間 ※概算造成費を指標として評価

寺沢奥南 約6.27億円
 青山 約1.14億円
 土沢北 約1.96億円

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北	
	評価	評点	評価	評点	評価	評点
5点/100点 ※評価1段階あたりの評点1点 (5点÷5=1点)	1	1	5	5	5	5

評価	区分
5	1.0億円～2.0億円
4	2.1億円～3.0億円
3	3.1億円～4.0億円
2	4.1億円～5.0億円
1	5.1億円～

※評価は5段階評価とする。

事業効率性

②対象地権者数

寺沢奥南 約30人
 青山 約 5人
 土沢北 約10人

重み配点	寺沢奥南		青山		土沢北		評価	区分
	評価	評点	評価	評点	評価	評点		
5点/100点 ※評価1段階あたりの評点1点 (5点÷5=1点)							5	0~5人
							4	6~10人
							3	11人~20人
	2	2	5	5	4	4	2	21~30人
							1	31人~

※評価は5段階評価とする。

評価比較表

Ⅱ 各候補地の評価と比較

				寺沢奥南		青山		土沢北	
大項目		小項目		評価	評点	評価	評点	評価	評点
評価項目	重み配点	評価項目	重み配点						
費用面 (税負担)	40	概算造成費 +概算用地費	40	1	8 ○	5	40 ◎	1	8 ○
環境面	30	①周辺人家の状況	20	5	20 ◎	3	12 ○	1	4 △
		②自然環境 (森林の伐採面積)	10	1	2 △	5	10 ◎	4	8 ○
交通利便性	20	①津久井広域道路 からの交通アクセス	10	4	8 ○	4	8 ○	5	10 ◎
		②相模湖総合事務所 からの交通アクセス	5	4	4 △	5	5 ◎	5	5 ◎
		③バス交通の状況	5	1	1 ○	3	3 ◎	1	1 ○
事業効率性	10	①造成工事の施工期間	5	1	1 △	5	5 ◎	5	5 ◎
		②対象地権者数	5	2	2 △	5	5 ◎	4	4 ○
合計	100	-	100		46		88		45

評価の結果から、候補地「青山」を最終候補地（案）として取組みを進めていく

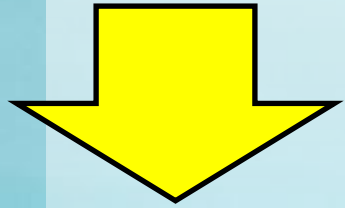
「新たな火葬場を考える会」会員の主な意見（H28.8）

- 評価項目の「費用面」の配点が高い
- 津久井広域道路（仮称）土沢交差点西側を候補地の1つとすることについて、もう少し検討した上で判断してはどうか
- 地域では、津久井広域道路の延伸による地域活性化を期待する声が多く、火葬場整備と併せた津久井広域道路の延伸を行うことで、地域のまちづくりの発展が図られると思う
- 候補地「青山」では、火葬場以外の開発が行われないので、将来のまちづくりにつながらない
- 火葬場は地域にとって迷惑施設であるため、地域の活性化が図られるもの（地域振興策）がないと、地域からの理解を得ることは難しい

「建設予定地」決定までのステップ

H28.9

最終候補地（案）を「青山」とする



H28.9~ 市民・地域等への説明会

H28.11

最終候補地としての決定

H29~

- 環境への影響調査（自主アセス）
- 大規模事業評価（外部機関の評価）⇒市民からの意見聴取
- 基本計画の作成⇒パブリックコメント

H31~

都市計画手続き（事業説明会・縦覧・意見書・都市計画審議会）



建設予定地の決定（都市計画決定）

市民の皆様へ継続して説明



平成24年3月竣工

厚木市斎場（神奈川県厚木市）

施設イメージ

補足説明



平成14年2月竣工

横浜市北部斎場（横浜市緑区）



平成16年4月竣工

揖斐（いび）広域斎場（岐阜県揖斐郡大野町）



平成27年3月竣工

京丹後市火葬場（京都府京丹後市）



平成28年7月竣工

蒲郡（がまごおり）市斎場（愛知県蒲郡市）

以上